



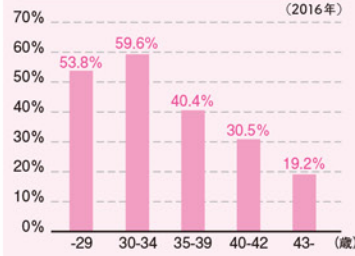
「おもてなし」の心を提供する受付

## 対話を大切にした 治療を実現！ カフェ風の おしゃれな院内が特徴

技術レベルはもちろん高く、かつ、居心地の良い待合室や対話を重んじる姿勢から人気急上昇している三軒茶屋ウィメンズクリニック。そんな地域に根ざしたクリニックの魅力に迫りました。

構成・文：編集部 撮影：菅 慎一

三軒茶屋ウィメンズクリニックの妊娠率  
(2016年)



- ▶ 妊娠率は各年代とも高水準
- ▶ 絵画が掛けられ落ち着いた雰囲気の診察室



- ▶ 15年以上のキャリアを持ち患者からの信頼度抜群の鯨島培養士。座右の銘は「日々精進」
- ▶ 充実した医療検査機器を完備しているメディカルルーム



患者の負担は最小限で、結果を出す院内スタッフ全員で妊活をサポート

まるでカフェのような雰囲気が特徴の三軒茶屋ウィメンズクリニック。そんななかで一般不妊治療、高度生殖補助医療を受けられるとあって、「病院が怖い」と感じる方に人気です。患者と院長との対話から生まれる「オーダーメイド」治療を大切にしています。

「入りやすい雰囲気作りは意識しています。とにかく病院っぽくはしたくなかったんです」と語るのは院長の保坂猛先生。「このクリニックのドクターは私ひとりなので、全ての患者さんに向き合います。ですからひとりひとりに深いところまで治療ができて自信があります。うまくいかなければ、原因を考え同じ治療法は

行わないようにしています。妊活は時間との戦いなので、また、ステップアップに関しても患者さんと対話します。患者さんの時間をいただいているという意識は持ちつつも、希望されないステップアップをすることはありません。

対話は院長とだけではありません。培養士と看護師が個別に時間を設け相談会を実施。「院長だと言えないことがあるかもしれせん。そんなときは女性の私たちにご相談を」と語るのは鯨島培養士。患者から聞いた内容のうち、治療に役立つことはスタッフ全員で共有。そのため、スタッフ同士のミーティングは毎日行われます。対話を通して心のケアと診療の改善を行っています。患者にとことん向き合い、院長・スタッフ・患者全員で同じ方向を向いて頑張れる、そんなクリニックです。

### クリニックの特徴

- 1 患者さんとの対話を大切にしスタッフ同士で密に連携
- 2 待合室や受付などは柔らかな雰囲気で入りやすい
- 3 培養士や看護師さんに話を聞ける相談会を実施



院長 保坂 猛先生

聖マリアンナ医科大学卒業後、産婦人科勤務。同大学産婦人科医長、同大学産婦人科非常勤講師、ファミリークリニック東京勤務を経て、2011年、三軒茶屋ウィメンズクリニック開院。医学博士/日本産科婦人科学会認定、産婦人科専門医/日本生殖医学会認定、生殖医療専門医/母体保護法指定医

#### 三軒茶屋ウィメンズクリニック

住所 東京都世田谷区太子堂1-12-34-2階  
☎03-5779-7155  
HP <http://www.sangenjaya-wcl.com>  
診療時間 9:30～12:30、15:30～19:00  
休診日 (木)(土)午後、(日)(祝)  
アクセス 東急田園都市線「三軒茶屋駅」南口A出口より徒歩3分